

1. 担当教員：丸居 篤，泉 完，東 信行

2. タイトル：岩木川における水環境の改善が生態環境に与える影響調査

3. 概要：平成28年より，津軽ダムの完成に伴い岩木川の水環境が大きく変化すると予想されている．青森県の農林水産業の環境の魅力向上に資するため，新たな岩木川の生態環境について，水量・水質をモニタリングし，魚の生息場や魚道の流速，魚類の種数および生息数に関する調査を行い評価する．

4. 参考資料



岩木川下流では流量が増加し，水質が改善されると考えられている．芦野頭首工において，魚道における流量や流速の変化が魚類の遡上に与える影響を明らかにするため，魚の遊泳能力，魚道の流速環境，遡上する魚種の調査を行っている．



平成27年まで目屋橋上流地点では，降雨後に長期にわたり濁水が流れることが問題になっていた．また，ダム下流地点などで河川流量の低下も課題であった．平成25年より目屋橋地点において流量と水質の調査を行っており，津軽ダムによる改善効果を検証している．（写真左：河川流量が低下していた箇所，写真右：濁水が流出した様子）